



# セルフケア ポータル

- [セルフケア ポータルの概要 \(1 ページ\)](#)
- [セルフケア ポータルのタスク フロー \(2 ページ\)](#)
- [セルフケア ポータルの連携動作と制限事項 \(3 ページ\)](#)

## セルフケア ポータルの概要

Cisco Unified Communications セルフ ケア ポータルから、電話の機能や設定をカスタマイズできます。管理者は、ポータルへのアクセスを制御します。エンドユーザがポータルにアクセスできるようにするには、その前に、ユーザをデフォルトの標準 Ccm エンドユーザアクセスコントロールグループに追加するか、または標準 ccm エンドユーザ ロールが割り当てられたアクセスコントロールグループに追加する必要があります。さらに、ユーザには、ポータルにアクセスするためのユーザ ID、パスワード、および URL が必要です。ユーザは、次の URL 経由でポータルにアクセスできます。

`http(s)://<server_name>:<port_number>/ucmuser/`

引数の説明

- **<server\_name>** は、Unified Communications Manager の IP アドレス、ホスト名、または完全修飾ドメイン名を表します
- **<port\_number>** は、接続するポートを表します。ポートはオプションですが、ファイアウォールの場合に便利です。
- **ucmuser** は、セルフケアをポイントする必須サブパスです

オプションで、エンドユーザが設定できる電話設定を割り当てるために、Cisco Unified Communications Manager 内でエンタープライズパラメータを設定することもできます。たとえば、**Show Call フォワーディング**エンタープライズパラメータは、ユーザがポータル経由でコール転送を設定できるかどうかを決定します。

# セルフケア ポータルのタスク フロー

## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<a href="#">ユーザに対するセルフケア ポータルへのアクセス権の付与 (2 ページ)</a>	ポータルにアクセスするには、エンドユーザが <b>標準 CCM エンドユーザ</b> アクセス コントロール グループまたは <b>標準 CCM エンドユーザ</b> ロール割り当てを持つグループに割り当てられている必要があります。
ステップ 2	<a href="#">セルフケア ポータル オプションの設定 (3 ページ)</a>	ポータルにアクセスするユーザが使用できる設定オプションを制御するためには、エンタープライズ パラメータを設定します。

## ユーザに対するセルフケア ポータルへのアクセス権の付与

ポータルにアクセスするには、エンドユーザが**標準 CCM エンドユーザ** アクセス コントロール グループまたは**標準 CCM エンドユーザ** ロール割り当てを持つグループに割り当てられている必要があります。

## 手順

- ステップ 1 [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] から選択します。 [ユーザ管理 (User Management)] > [エンドユーザ (End User)]。
- ステップ 2 セルフケアへのアクセスを提供する対象となるユーザを検索します。
- ステップ 3 [エンドユーザ (End User)] セクションで、ユーザにパスワードと PIN が設定されていることを確認します。  
通常、これらのクレデンシャルは、新しいユーザが追加されるときに入力されます。
- ステップ 4 [権限情報 (Permission Information)] セクションで [アクセスコントロールグループに追加 (Add to Access Control Group)] をクリックします。
- ステップ 5 [検索 (Find)] をクリックして、[標準 CCM エンドユーザ (Standard CCM End Users)] グループまたは [標準 CCM エンドユーザ (Standard CCM End Users)] ロールが含まれているカスタム グループを選択します。

(注) アクセス コントロール グループの編集および設定とアクセス コントロール グループのロール割り当てについては、[Cisco Unified Communications Manager システム設定ガイド](#) の「ユーザ アクセスの設定」の章を参照してください。

ステップ 6 [保存 (Save) ] を選択します。

---

## セルフケア ポータル オプションの設定

ポータルにアクセスするユーザが使用できる設定オプションを制御するためにセルフケア ポータル エンタープライズ パラメータを設定するには、次の手順に従います。

始める前に

[ユーザに対するセルフケア ポータルへのアクセス権の付与 \(2 ページ\)](#)

手順

- 
- ステップ 1 [Cisco Unified Communications Manager の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration) ] で、[システム (System) ] > [エンタープライズ パラメータ (Enterprise Parameters) ] を選択します。
  - ステップ 2 [セルフケアポータルパラメータ (Self Care Portal Parameters) ] で、ドロップダウンリストから使用可能なサーバのいずれかを選択して、[セルフケアポータル デフォルトサーバ (Self Care Portal Default Server) ] を設定します。  
  
このパラメータは、組み込みのセルフケアのオプション ページを表示するのに使用する Cisco Unified CM サーバの Jabber を決定します。[なし (None) ] を選択すると、Jabber はパブリッシングをデフォルトとします。
  - ステップ 3 [セルフケアポータルパラメータ (Self Care Portal Parameters) ] のその他のフィールドを設定して、ポータルの機能を有効または無効にします。フィールドの詳細については、エンタープライズ パラメータのヘルプを参照してください。
  - ステップ 4 [保存 (Save) ] を選択します。
- 

## セルフケア ポータルの連携動作と制限事項

次の表に、セルフケア ポータルの機能の連携動作と制限事項を示します。

機能	連携動作または制限事項
認証されたユーザの https 要求	<p>認証されたユーザが <code>https://{CUCM_address}/ucmuser/hostAlive/{host}</code> に要求すると、次のようになります。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 要求が <code>http:{host}/</code> を取得するのに成功した場合、または要求が <code>{host}</code> を ping できる場合、Cisco Unified Communications Manager は文字列「true」を返します。</li><li>• 要求が失敗した場合、Cisco Unified Communications Manager は文字列「false」を返します。</li></ul>